

山口情報芸術センター [YCAM] サウンドアートシリーズ sound tectonics (サウンド・テクトニクス)

## ライブコンサート「sound tectonics #10」

2011年9月17日(土) 19:00開演(30分前開場) 会場:スタジオA

## 作品展示(YCAM委嘱作品)「sound tectonics installation」

2011年9月17日(土) - 12月18日(日) 10:00 - 20:00 会場:中庭(館内) 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM]

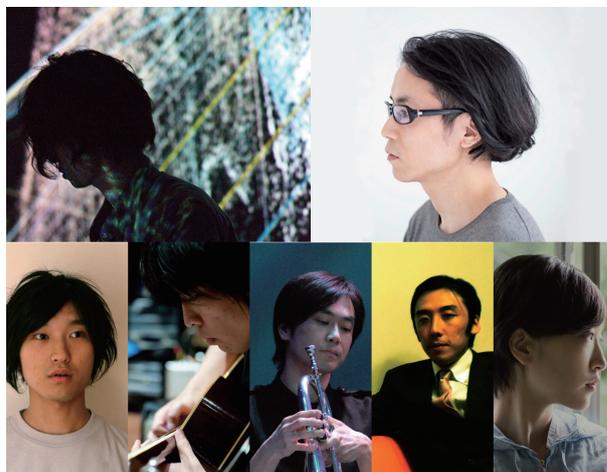
音響空間に対する研ぎ澄まされた感覚や、多彩な発想を追求する3組のアーティスト  
黒川良一、evala、蓮沼執太チームの最新のサウンドパフォーマンスを紹介

山口情報芸術センター[YCAM]では、電子音響を中心に国内外のアーティストによる最新のサウンドアートを紹介するシリーズ「sound tectonics(サウンド・テクトニクス)」として、ライブコンサートとインスタレーション作品の展示を同時開催いたします。シリーズ10回目となる今回のライブコンサートでは、黒川良一、evala、蓮沼執太チームの3組のアーティストが登場します。黒川良一は、YCAMにて展示中の作品「rheo: 5 horizons (レオ・ファイブ・ホライズンズ)」の原点となった作品「Rheo(レオ)」(2009年初演)を日本初公開。さらに、evalaによるオリジナルの立体音響パフォーマンス、ヴォーカルを含めた5人のメンバーからなる蓮沼執太チームは、実験的なアンサンブルを披露します。

また、本シリーズの新たな展開として、サウンドシステムを地下に配したYCAMの中庭を会場に、コンサート出演者であるevala、黒川良一による委嘱作品を展示します。パフォーマンスとサウンドインスタレーションの双方を体験できる機会を通じ、音響表現の多様性と、アーティストの研ぎ澄まされた感覚や多彩な発想をご紹介します。

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当: 廣田  
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 e-mail: information@ycam.jp  
〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp/>  
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



ライブコンサート出演者:

[上段左から] 黒川良一 (@Ryoichi Kurokawa) / evala (photo: 新津保健秀)

[下段左から] 蓮沼執太 (photo: miho kakuta) / 石塚周太 / 権藤知彦 / Jimanica / 木下美紗都

## 出演アーティスト/展示作品

## ライブコンサートシリーズ「sound tectonics #10」

出演:

黒川良一

evala

蓮沼執太チーム 蓮沼執太、石塚周太、権藤知彦、Jimanica、木下美紗都

## インスタレーションシリーズ「sound tectonics installation」

evala 「void-inflection (ヴォイド・インフレクション)」

黒川良一 「Remapped extract of 'celeritas」  
(リマップド・エクストラクト・オブ・ケレリタス)

## YCAM サウンドアートシリーズ「sound tectonics (サウンド・テクトニクス)」 ライブコンサートとインスタレーションを通じ、音響表現の実験性、多様性に迫る。

YCAMでは、開館以来、サウンドと空間との関係から生まれる音響表現の多様性を探求するため、電子音響を中心としたパフォーマンスとインスタレーションを紹介するシリーズ「sound tectonics」を開催しています。これまで、国内外の多くのサウンドアーティストを招聘してきた本シリーズは、アーティストによる表現の可能性と、音響表現による多様な知覚体験を拓く企画として注目を集めています。

ライブコンサートシリーズでは、世界トップクラスの音響・映像設備と技術を誇るYCAMの機能を最大限に生かし、優れたアーティストを紹介するハイクオリティなコンサートを実現しています。また、中庭を会場としたサウンドインスタレーションシリーズでは、ガラスに囲まれた吹き抜け構造の環境と、地下に配したサウンドシステムによる音響を生かした委嘱作品を制作／公開しています。足下から湧き出るような音響と優れた表現を体験できる展示により、来館者がサウンドアートに日常的に親しむ機会を提供しています。今回は、シリーズの更なる展開として、サウンドコンサートとインスタレーション展示を同時開催し、音響表現を比較的に体験できる機会を提供し、サウンドアートの空間性、時間性の相対化を試みます。



【上】sound tectonics #7 (2007) 出演：刀根康尚

【中】sound tectonics #8 (2010) 出演：byetone [オラフ・ペ

ンダー] 【下】sound tectonics #9 (2011) 出演：Y.Sunahara

### サウンド・テクトニクス ライブコンサートシリーズ「sound tectonics #10」

シリーズ10回目を迎えるライブコンサート「sound tectonics #10」には、サウンドと映像による精緻な表現を追求するアーティスト、黒川良一、立体音響と鮮烈な音楽性で注目を集める evala、さらに、実験的な音楽を展開する新進気鋭のアーティスト蓮沼執太の3組が登場します。黒川良一は、YCAMで開催中の展示作品「rheo: 5 horizons」(2010)の元となったパフォーマンスピース「Rheo」(2009年初演)を日本初公開。高精度の3面プロジェクションを駆使し、サウンドと映像が完全同期したミニマルかつ濃密な世界観を生み出します。evalaは、8.4チャンネルのオリジナル3次元立体音響的パフォーマンスにより、音響クラスターともいえる音の繊細な動きや混成を生成する実験的コンサートを展開。さらに、5人のメンバーからなる、蓮沼執太チームは、多彩な楽器とヴォーカルを空間に自由に配したアンサンブルミュージックを披露します。YCAMの音響・映像設備と技術を生かし、3組のアーティストの個性を極めた音響表現、電子音響の可能性を開示する実験的かつハイクオリティなライブを実現します。



【上】黒川良一 ©Ryoichi Kurokawa

【下】evala (sound tectonics #7, 2007, YCAM)

## サウンド・テクニクス・インсталレーション インсталレーションシリーズ「sound tectonics installation」

コンサートと同時開催となる今回の「sound tectonics installation」では、「sound tectonics #10」の出演アーティストである evala、黒川良一の両氏に、新作サウンドインсталレーションを委嘱し、2カ所の中庭それぞれに作品を展示します。立体的で高密度なサウンド表現と、大規模な立体音響インсталレーションで国際的に高く評価される evala は、音響の反射と混合、自律生成のプロセスによる未知の音響的環境を作り出します。また、黒川良一は、2009年の作品「celeritas (ケレリタス)」を、サウンドインсталレーションバージョンとして改訂し、中庭の空間特性にあわせて再構成します。

### sound tectonics installation #3

ヴォイド・インフレクション

#### evala 「void-inflection」

新作 | YCAM 委嘱作品

フィールドレコーディング音源を録音データとし、並列した5.1チャンネルのサラウンドシステムを用いて斬新な音響仮想空間を実現するサウンドインсталレーション。音響特性によってタグ付けされた膨大なデータは、プロセッサを経由し、大胆かつ繊細な楽音として自律生成されていきます。コンピュータだからこそ可能となる、音響の位相までを変転する生成プロセスの結果、人工でも自然でもない多様な響きをもった空間が立ち現れます。

### sound tectonics installation #4

リマップド・エクストラクト・オブ・ケレリタス

#### 黒川良一「Remapped extract of 'celeritas」

改訂新作 | YCAM 委嘱作品

オーディオビジュアルインсталレーション、コンサート、シアターなどの多様な形式で展開されてきた黒川良一の作品「celeritas (ケレリタス)」(2009年)の新たな境地となるサウンドインсталレーションバージョン。「celeritas」の抜粋した音源を、中庭の空間にあわせて、5.1チャンネルに再構成します。



インсталレーション会場の中庭(YCAM)

### sound tectonics installation

これまでのインсталレーション委嘱作品

#### ■ #1

テイラー・デュブリー +  
クリストファー・ウィリッツ  
「リスニング・ガーデン」(2004)

#### ■ #2

渋谷慶一郎 + evala  
「for maria installation version」  
(2009)

## アーティストプロフィール

### 黒川良一 | Ryoichi Kurokawa

映像/音響アーティスト

1978年生まれ。1999年頃より映像/音響作品の制作を開始。2003年にはオーディオビジュアル作品「COPYNATURE」(CD・DVD)をレーベルPROGRESSIVE FORMより発表。2004年には「READ」(CD・DVD)を細野晴臣氏の主催するレーベルdaisyworld discsより発表。国内外の美術館やSonar (バルセロナ)やDissonanze (ローマ)などで作品を展示・上映するほか、MUTEK (モントリオール)をはじめとする海外のアートフェスティバルに招聘され、オーディオビジュアルライブに出演。コラボレーションも積極的におこない、SKETCH SHOWの公演にてライブビジュアルを手掛けるほか、ACOの公演ではオペレートを担当する。2004年には、HUMAN AUDIO SPONGE (SKETCH SHOW + 坂本龍一)のライブ映像を担当。2010年には、自身の作品「rheo: 5 horizons」が、アルス・エレクトロニカ(リンツ)にて、デジタル・ミュージック部門ゴールデン・ニカ(大賞)を受賞。第54回ヴェネツィア・ピエンナーレ(2011)では、関連企画展「One of a Thousand Ways to Defeat Entropy」のアーティストに選出される。現在、ベルリン在住。

<http://www.ryoichikurokawa.com/>

### evala

サウンドアーティスト、port主宰、ATAK所属

先鋭的な電子音楽作品を発表し、国内外でのパフォーマンスをおこなう一方、様々なメディアや実空間へのサウンド・デザイン、先端テクノロジーを用いたインタラクティブ・プログラムなど、音を軸にその活動は多岐にわたる。2010年にリリースした最新アルバム「acoustic bend」(port)は、フィールド・レコーディングをかつてない手法で位相変換した立体的で高密度なサウンドにより「10年代最初の音楽的進化を成し遂げた革新的アルバム」と評され、大きな話題を呼んだ。最近では、渋谷慶一郎(ATAK)とともに24.4chの立体音響インсталレーション「for maria anechoic room version」を国内外で発表するほか、ラップトップ・デュオ ATAK Dance Hallも始動。また、川口隆夫(Dumb Type)やGRINDER-MANの新作パフォーマンス公演において360度をめぐるマルチチャンネルで音楽を手掛ける。YCAMでは、2009年にサウンドインсталレーション「for maria installation version」を渋谷慶一郎と共同制作したほか、ライブ出演多数。その卓越した聴力と技術精度、鮮烈な音楽性は、注目を集め続けている。

<http://port-label.jp> <http://evala.org>

## アーティストプロフィール(ライブコンサート出演 | 蓮沼執太チーム)

## 蓮沼執太 | Shuta Hasunuma

音楽家

1983年生まれ。HEADZを中心に国内外の音楽レーベルから作品を多数発表。主な作品に「OK Bamboo」(2007)、「POP OOGA」(2008)、「wannapunch!」(2010)。近年は、舞台・映画・ファッションショーの音楽、ワークショップや講演などの様々な領域で活動。また、「蓮沼執太チーム/フィル」をはじめ、音楽を基盤とした多数のプロジェクトを展開。音楽のあり方についての問いを投げかけるとともに、それらを通じたコミュニケーションの可能性を示唆し、世界の豊かさを知る新しい価値観を提案している。2011年は、東京国立近代美術館での展覧会の会場音楽を手掛けるほか、展覧会「港のスペクタクル」(横浜)にて映画監督、瀬田なつきと共同作品を発表。12月には、東京都現代美術館での新作展示を予定。

<http://www.shutahasunuma.com/>

**石塚周太** | ポップデュオ、detune.のメンバーギター、ベース等の演奏、エンジニアリングを手掛ける。木下美紗都、グレンスミス等のプロジェクトにギタリストとして参加。静岡県浜松市立の小学校の校歌の制作や、スタジオのハウスエンジニアとして活動。

**権藤知彦** | 作編曲家、サウンドプロデューサー、ユーフォニウム奏者。anonymassを主宰しアルバム4枚を発表、またpupa, TYTYTメンバー。YMOはじめ多数アーティストサポートも努める。

**Jimanica** | 2005年ドラムソロアルバム「Entomophonic」(mao)をリリース。2006年、d.v.dを結成。2007年にはJimanica: Ametsubを結成し、「Surge」をリリース。エレクトロ無重力ジャムバンドThe Space Baa、DE DE MOUSEやWorld's end Girlfriend、蓮沼執太などのバンドに在籍。近年ではフルカワミキのリミックス曲提供や、やくしまるえつこのシングル曲のアレンジなど、コンポーザーとしても注目を集める。

**木下美紗都** | 2007年WEATHER/HEADZ初の女性ソロ・シンガーとしてアルバム「海東京 さよなら」を発表。瀬田なつき監督「彼方からの手紙」(2008)、「あとのまつり」(2009)、「嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん」(2011)の劇中音楽を手掛ける。2011年1月にはこれらのサウンドトラック音源を収録した映画音楽集「瀬田なつき×木下美紗都 SOUNDTRACKS」を発表。約4年ぶりとなる2ndアルバム「それからの子供」発売中。

## 開催概要

YCAM サウンドアートシリーズ **sound tectonics** (サウンド・テクトニクス)

## ライブコンサート

**sound tectonics #10**

2011年9月17日(土) 19:00開演(30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

出演:

黒川良一

evala

## 蓮沼執太チーム

蓮沼執太(指揮)、石塚周太(ギター)、権藤知彦(ユーフォニウム)、Jimanica(ドラムス)、木下美紗都(ヴォーカル)

料金:[オールスタンディング]

前売 一般3,000円/any 会員・特別割引2,500円/25歳以下2,300円

当日 3,500円 ※当日は各種割引対象外

## 【チケットのお求め】

電話/窓口: 山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111 (YCAM内/10:00-19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット: <http://www.ycfcop.or.jp/> (24時間受付※要事前登録)

セブンイレブン店頭: セブンコード012-327

■特別割引: シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

■未就学児入場不可

■託児サービス

対象: 0才(6ヶ月)以上 託児時間: 開演の30分前から終演30分後まで

料金: お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法: 9月10日(土)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム: 事前にお問い合わせください。

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市、山口市教育委員会

支援: 平成23年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

協力: Cimatics

技術協力: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

## 展示作品(サウンドインスタレーション)

**sound tectonics installation**

2011年9月17日(土) -12月18日(日) 10:00-20:00

山口情報芸術センター [YCAM] 中庭(館内)

入場無料

sound tectonics installation #3 (新作 | YCAM委嘱作品)

evala 「void-inflection (ヴォイド・インフレクション)」

sound tectonics installation #4 (改訂新作 | YCAM委嘱作品)

黒川良一「Remapped extract of 'celeritas」

(リマップド・エクストラクト・オブ・ケレリタス)

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市、山口市教育委員会

協力: Cimatics

技術協力: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

## 同時開催

YCAM 長期展示シリーズ **scopic measure #13**

黒川良一「rheo: 5 horizons」(レオ・ファイブ・ホライズンズ)

2011年9月17日(土) -11月13日(日) 10:00 -19:00

※火曜休館

会場: スタジオB 入場無料

※関連イベントとして、「YCAM ギャラリーツアー」を、週末を中心に会期中13回開催します。